#### ▲画面の紹介に戻る □ ● 光 № □1/1 1本文 2資料 311 0 5法華 5年表 657 2 7書出 3 該索 ○ **2 9. 叙达** D. 解除 🛨 🔻 🔺 🛣 🍰 🗾 🗧 🐻 🔿 J 真読 🕫 k活用 法華経 御書通読 リセット 463 /463 1882 26896 6 如来寿量品第十六 善男子 釋氏宮 願説之 我等當信受佛語 汝等當信解如來誠諦之語 是時菩薩大衆 億那由佗劫なり。 釈迦牟尼仏、 秘密神通の力を。】一切世間の天、 を知しめして、之に告げて言わく、 等当に、仏の語を信受し8にてまつるべし。是の如く三たび白 信解すべし。是の時に菩薩大衆、弥勒を首と為して、合掌し 復、 の善男子、汝等当に如来の誠諦の語を信解すべし。復大衆に 秘密神通之力 つげたまわく、汝等当に、 こ 語 て仏に自して言さく、世尊、唯願わくは之を説きたまえ。我 し已って、復言さく、唯願わくは之を説きたまえ、我等当に 然るに善男子、 道場に坐して、阿耨多羅三藐三菩提を得たまえりと謂えり 爾時世尊 仏の譜を信受したてまつるべしと。 爾の時に仏、諸の菩薩、及び一切の大衆に告げたわく、諸 妙法蓮華経如来寿量品第十六 爾時佛告諸菩薩及一切大衆諸善男子 汝等當信解如來誠諦 妙法蓮華經如來壽量品第十六 世尊 諸の大衆に告げたまわく、汝等当に、 【爾の時に世尊、諸の菩薩の、三たび請じて止まざること 復告大衆 汝等當信解如來誠諦之語 我實成佛已來 無量無邊百千萬億那由他劫 去伽耶城不遠坐於道場 唯願說之 我厚當信受佛語 釈氏の宮を出でて、 知諸菩薩三請不止 一切世間天人及阿修羅 我実に成仏してより已来、無量無辺百千万 4 如来の誠諦の語を信解すべし。又 而告之言 得阿耨多羅三藐三菩提 伽耶城を去ること遠からず 汝等諦かに聴け、 人、及び阿修羅は皆今の 如是三白已 皆謂今釋迦牟尼佛出 如来の誠諦の語を 彌勒為首合掌白佛 又復告諸大衆 汝等諸聽 (7)開結 復言唯 如来の 如來 蔵経 然

法華経通読フォーム画面

	各部の構成		
1	「法華経画面切り替え」ボタン	2	「書き出し」ボタン
3	「検索」ボタン	4	品名欄
5	検索・絞込条件選択トグルボタン	6	法華経No.欄
7	法華経対照欄	8	訓読欄
9	真読欄		

法華経本文のデータを基礎に、スペースを大きく取り、通読しやすいようにした画面です。真読は大正大蔵経に依り、訓読は大石寺版開結の真読を改めて訓読したものです。機能は、法華経フォーム画面とほぼ同じです。 ※法華経通読フォーム画面には、横書きフォームも用意されています。お好みの画面でご使用下さい。画面の切り 替えは 26 をクリックします。

◎ ● S 校 040 1本文 2資料 3通数 4法単 5年表 6 法集成 30%50 2316		■ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲
於法蓮華經常不輕華薩品第二十 前時佛告得大勢華薩摩爾薩 汝今當知 蒂比 丘比丘尼僅讓德德速來 持法花經苦 若有惡口 罵審談論 强大罪稅 如前所說 其所得功德 如向所說 戰耳鼻舌身意清淨 得大勢 乃住古 首退無量無違不可思識可借抵助 有佛名威音玉 如來 應供 正遲知 明行足 養進 世間解 無上士 調勒丈夫 天人肝 佛世尊 助名維樂 國名大成 其故音王佛 於彼世中 爲天人同 修羅說法 孫求歸閒者 说應四諸法 度生老病 究竟這望與 爲求時支佛者 脫進十二因陽法 爲諸著隨因阿攝多釋三歲三苓提 說應六波羅露 法究竟佛題	炒法運華経常不輕筆諸品第二十 間の時に仏、得大勢等臨審詞職に骨げたまわく、汝今当に知る べし、差し比丘、比丘尼、優遽察、優婆夾の法華経を持た人者を 、差し悪丘、紫子、斜鏡すること有らば、大いなる厚根を現んこ と、前に説く所の知し、其の陪得の功徳は、向に説く所の如く、 眼、耳、鼻、舌、身、壅清浄ならん。得大缺、乃往古智に、無量 無辺不可思識阿僧抵劫を通ぎて仏有しき、脈音王如来、応供、単 編知、明行足、善退、世間解、無上土、調御丈夫、天人紙、仏信 其の賦音王仏、彼の世の中に於て、天、人、阿修羅の為にはを説 さたう。直覧を求むる者の為には、応ぜる四時の法を説いて、 生老病死を度し、涅槃を実施せしめ、韓支仏を求むる者の為には 広ぜる十二国線の法を説き、諸の菩薩の為には、阿勝多羅三藤三 著想に回せて、応ぜる六波羅羅の法を説いて、仏慧を突竟せしむ。	常不整菩薩品第二十 開始: 50:13

法華経の横書きフォーム画面

# 《法華経通読フォーム画面専用機能》

① 4法華 (法華経画面切り替え)ボタン……法華経本文画面と法華経通読画面を切り替えます。

2 2書出 (書き出し)ボタン……法華経全部もしくは品単位で書き出しができます。

③<sup>8検索</sup>(検索)ボタン・・・・・入力枠に何も入力しないで<sup>8検索</sup>をクリックすると品名一覧が表示され、各品に移 動できます。

妙法蓮華経品第目次	C 較込 💕
無量義経徳行品第一	
無量義経説法品第二	
無量義経十功徳品第三	
序品第一	従地涌出品第十五
方便品第二	如來寿量品第十六
譬喻品第三	分別功徳品第十七
信解品第四	随喜功徳品第十八
莱草喻品第五	法卸功德品第十九
授記品第六	常不軽菩薩品第二十
化城喻品第七	如来神力品第二十一
五百弟子受記品第八	嘱累品第二十二
授学無学人記品第九	菜王菩薩本事品第二十三
法師品第十	妙音菩薩品第二十四
見宝塔品第十一	観世音菩薩普門品第二十五
提婆達多品第十二	陀羅尼品第二十六
勧持品第十三	妙荘厳王本事品第二十七
安柴行品第十四	普賢菩薩勧発品第二十八
	観普賢菩薩行法経

④品名欄……現在表示されている法華経の品名を表示します。



⑤検索・絞込条件選択トグルボタン……法華経真読の[蔵経真読]を対象の場合は「j」文字を、真読の[真読活 用]を対象の場合は「k」文字を付けて入力してください。(「法華経」フォーム画面と違って訓読([開結訓読]) を指定することはできません。)

○J真読€k活用

6法華経Nu.欄……法華経データの通し番号です。

2196

⑦法華経対照欄……現在表示の大正蔵経(下段)、および大石寺版(訓読)の頁・段・行数を表示します。



⑧訓読欄……大石寺蔵版「妙法蓮華経並開結」を表示します。



⑨真読欄……大正新修大蔵経第9冊所収の「妙法蓮華経」を表示します。



《法華経通読フォーム画面への移動》

法華経通読フォーム画面への移動は、メインメニューの<u>4.法 華 経</u>、または<mark>法華</mark>のある各フォーム画面上から、それらをクリックして移動した際、表示されたフォームが法華経フォーム画面であれば、さらに <sup>1</sup>をクリックして移動します。

## 《「法華経」とのリンク》

真読・訓読の本文をドラッグして<sup>4法華</sup>をクリックすると、「法華経」フォーム画面のそれぞれ該当する真読・訓読の箇所にリンクします。【】印を付けるようにしておけば一目瞭然です。(ドラッグしないでただ<sup>4法華</sup>をクリックすると、頁の 先頭の経文本文を含む行に進みます。)

#### 《御書本文・御書通読とのリンク》

同様に真読・訓読の本文をドラッグして<sup>1本文</sup> 3通読をクリックすると、御書にその経文が引かれている場合は、その引用されている[システム版御書]の箇所にリンクします。引用されてない場合は、引用されてなくても御書に進むか (この場合の御書の位置は直前に作業をした位置)、現法華通読フォーム画面に止まるかを尋ねてきます。

## ※字体・表記の違いは、システムが判断

上記のとき、真読をドラッグした場合は正字・異体字を含むことになりますが、字体の違いはシステムが吸収して処 理するので気にする必要はありません。また真読と訓読で多少内容の違いもありますが、それもほぼ吸収するように してありますので、どちらをドラッグしても目指す[システム版御書]にリンクされます。

## 《法華経通読フォーム画面での検索・絞込》

法華経通読フォーム画面での検索・絞込の詳細は、

「主な機能別使い方(調べる)」→「F、法華経の一文を探し出す」

をご覧ください。

#### 《法華経フォーム画面での書き出し》

法華経全部もしくは品単位で書き出しができます。法華経フォーム画面での、書き出しの詳細は、

「主な機能別使い方(書き出す)」→「C、法華経の書き出し」

をご覧ください。

▲<u>このページの先頭に戻る</u>

/--- 戻る(法華経) 画面選択 次へ(年表)